

# みんなで、植えよう、育てよう！

## 配付樹木の特性一覧

 在来種  園芸品種 

種別	名称	写真	鑑賞時期	常緑/落葉	特性	種別
高木	キンモクセイ	 	花:9月～10月	常緑	橙色の小さな花は、近くを通るだけですぐわかるほど、とても良い香りです。	
	サザンカ※	 	花:10月～3月	常緑	日陰や潮風、寒さに強い樹です。ツバキの花が丸ごと落ちるのに対し、サザンカは花びらが別々に散ります。	
	ヤマモモ	 	実:6～7月	常緑	雌雄異株で、実は雌樹にしか生りません。土壌を選ばず、乾燥、潮風に強く、甘酢っぱい実は、果実酒やジャムに向いています。	
	イロハモミジ	 	紅葉:11～12月	落葉	春の新芽のやわらかさ、夏の涼しげな緑、秋を彩る紅葉と、四季折々の姿を楽しめます。	
	コブシ	 	花:3～4月	落葉	春、芳香のある大きな白い花を咲かせます。乾燥に弱いので、根付くまでは水切れに注意が必要です。	
	サルスベリ	 	6～8月	落葉	夏の花の少ない時期に、長く花を楽しむことができます。花には、赤・白・ピンク・紫など様々な色があります。	
	セイヨウベニカナメモチ (レッドロビン)	 	葉:1～12月	常緑	紅色の新芽が美しく、生長が早くとても丈夫です。生垣として多く使われます。	
	ソメイヨシノ	 	花:3～4月	落葉	日本を代表する桜で、薄桃色の花は咲き始めから散るまで、楽しむことができます。	
	ハクモクレン	 	花:3～4月	落葉	春、若葉が芽吹く前に美しい白花が咲き、強い香りの特徴です。	
	ハナミズキ (白花・赤花)	 	花:4月～5月 実:9～10月 紅葉:11～12月	落葉	春に、たくさんの花を咲かせ、秋には、葉が紅葉します。赤い実は、鳥が好んで集まります。	
	ヤマザクラ	 	花:3月下旬～4月下旬	落葉	サクラの原種で、万葉の時代から、日本人に親しまれてきた樹です。白～淡紅色の小ぶりの花が房状に楽しめます。	

注1) 花の色は選べません(ハナミズキを除く)。 注2) 雄株、雌株は選べません。 注3) ※の樹木は苗の流通状況により、園芸品種になります。



## 在来種を植えるメリット

もともとその地域に生育していた植物であることから、病害虫に強く、元気に育ちやすいというメリットがあります。

また、在来種を植栽することで、地域に本来生息・生育する生き物の生息環境の保全・形成に寄与するとともに、地域特有の自然環境や景観の形成につながります。





# 配付樹木の特性一覧

在来種



園芸品種



種別	名称	写真		鑑賞時期	常緑/落葉	特性	種別
低木	アオキ			実:11～2月	常緑	とても丈夫で育てやすく、日陰でも育つ樹です。雌株は赤い実がなります。	
	クチナシ※			花:6～7月	常緑	芳香のある白い花を咲かせます。	
	サツキツツジ			花:5～6月	常緑	5月に咲くことから「皐月」の名があり、たくさんの花を咲かせます。	
	シャリンバイ			花:5～6月	常緑	日陰にも耐え、乾燥にも強く、とても丈夫です。	
	キンメツゲ			葉:1～12月	常緑	「イヌツゲ」の園芸品種で、新芽が黄金色になります。	
	ヒラドツツジ			花:4～5月	常緑	「サツキツツジ」に比べ、大きな花を咲かせます。	
	ユキヤナギ			花:3～4月	落葉	白い小さな花がたくさん枝につき、雪をかぶった柳のように見えることから名がつけました。	
	アジサイ			花:6～7月	落葉	大きな房状に咲く花が特徴です。土壌によって、色の変化が楽しめます。	
	カンツバキ			花:12～2月	常緑	冬の庭に彩りを添える花木のひとつです。	
つる植物	キツタ			葉:1～12月	常緑	日陰でも日向でもよく育ち、壁面緑化などに向いています。常緑なので年中葉が楽しめます。	
	ナツツタ			紅葉:11～12月	落葉	「キツタ」と違い落葉つる性で、秋になると紅葉のグラデーションが楽しめます。	
	ツキヌキニンドウ			花:6～9月	常緑	花は、鮮やかな色で、甘い香りも魅力の常緑のつる性植物です。	
	テイカカズラ			花:5～6月	常緑	春に付ける白い花には芳香があり、秋には一部の葉が紅葉します。	
	モッコウバラ			花:4～5月	半常緑	つる性のバラで、トゲはありません。花には香りある白と、香りがなく花つきの良い黄色があります。	

注1) 花の色は選べません(ハナミズキを除く)。 注2) 雄株、雌株は選べません。 注3) ※の樹木は苗の流通状況により、園芸品種になります。